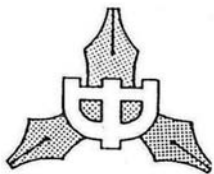


【学校紹介】

国見中学校



「輝けさわやかに 風は国見から」

【校訓】「向学」「意志」「協力」「健康」

【生徒数】54名（1年16名・2年21名・3年17名）



国見中学校では、「意欲的に学び、豊かな心や社会性を身につけ、ねばり強く努力し続けるたくましい生徒を育てる」を教育目標に掲げ、「肝付町らしい教育」の推進として、「本物」を生かした体験活動を教育活動に取り入れています。

また、今年度から川上中の生徒も加わり、学校にはさわやかな風と活気があふれています。

自然を生かす



1年生が叶岳を拠点に町内の文化財を回るオリエンテーリングし、郷土のすばらしさを実感しました。

人を生かす



3年生が町内外の職場体験学習で職場の方から話を伺い、仕事のやりがいや苦労について学びました。

文化を生かす



セリの見学や、魚を使った郷土料理の調理を通して、肝付町の産業や食文化について学習しました。

英語を生かした学校づくり



英語の研究授業では、日本や郷土を紹介する英作文を行い、英語を活用する学習を行いました。

肝付町道徳教育推進事業における人権教育推進班の活動



元ハンセン病患者の方を講師にお招きし、ハンセン病問題を含めた人権教育の講演会を開催しました。人権の大切さを学び、あらゆる差別を許さないでお互いを尊重する考え方を学びました。



部活等の活性化による成績結果(少ない人数でもがんばれば感動)



創部14年目で夏の県大会初出場を果たしました。3年生3名、2年生8名、1年生3名14名の少ない人数での快挙でした。



男子バレーボール部は2年連続の県大会出場です。3年生の木村克夫きむらかつきさんは、JOCカップの県の選抜チームにも選ばれました。



川上中から引き継いだ卓球部個人戦で白田幸奈しらたゆきなさん、陸上競技の砲丸投しげたせいやげで重田星夜さんが、県大会出場を果たしました。